



提供会員 61 人 依頼会員 161 人 両方会員 4 人 合計 226 人 累計活動件数 959 件 2024 年 1 月

ニュースをメールで受け取り希望の方へ

件名に会員番号とフルネーム、本文に「ニュースをメールで受け取り希望」と入れていただき、配信希望のアドレスから kodomo21@zb.ztv.ne.jp に送信をお願いします。



♡ 新年度に向け、更新手続きが変わりました

今まで毎年提出していただいていた登録継続申込書は不要になりました。入会してから退会するまでは会員として在籍します。会員証の発行は一度のみになります。

また、依頼会員の方は、今まで毎年提出していただいていた承諾書は初回に出していただいた後、毎年確認のみになります。お子さんの状況は毎年変わってきますのでサポート表は毎年必ず提出してください。

2024年度以降退会されるときには、今までと同様必ず退会届に会員証を添えて提出してください。

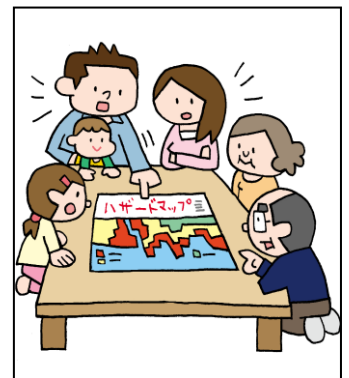


♡ 防災関連情報 9

私たちのできること



1月1日、何をしていましたか？子どもや孫たちが帰ってきて、または帰省した実家で、にぎやかな団らんだったのではないのでしょうか。うちは、息子家族が帰ってきていました。緊急地震速報が鳴って、息子は下の子が寝ている母屋に走り、私は観葉植物の鉢を台から降ろして



(今さら！)、夫はテレビを押さえて(これはしっかり止めてあるのだが)、

「頭を下げて！」としか言えませんでした。玄関が一番安全かなと、考えてはいたけど、みんなを誘導できませんでした。そして、テレビから「逃げてください！」のアナウンス。そのあとは、ご存じの通り、大災害の現状が明らかになっていきました。

南海トラフ巨大地震が危惧される地域で生活している私たちにとって、他人事ではありません。

家の耐震、家具止め、備蓄やトイレ問題など、この機会に再度見直してみませんか。

実家の耐震はどうでしょうか。懐かしいまま残っている家は、災害には弱いです。楽しいはずの帰省が、胸が痛いです。当事者になりたくないです。

子ども世代は、親の家の耐震診断や倒れてくるかもしれない家具のこと、話題にしてみましよう。また、親世代は、自分の家を何とかする。一部屋だけでも、倒れてくる家具の心配が

ない部屋を作るだけでも、リスクは減ります。「正月に集まるだけだから」と思いますよね。でも、災害は日を選んでくれません。厳しいです。

被災地支援にむけて、募金や支援金、またボランティア活動など長期の支援が必要となりそうです。私たちのできること、災害を自分事に考えることです。生き残り、生き延び、日常生活を取り戻し、社会復帰が出来るように、自宅の耐震、備蓄、トイレ対応など、私も真剣に見直してみます。



中川



♥ 第1回研修会報告②

「子どもにはチカラがある ～子どものエンパワメントを支えるおとなの役割～」

11月19日（日）伊勢市民活動センター

講師：子どもの権利条約総合研究所関西事務所
所長 浜田進士先生

子どもには力がある。笑っても泣いても立っても座っても、皆がにこにこしていられて、その小さな子どもに癒されていた頃。いつからか、自分の時間を邪魔する存在になったと思うようになる。ただ、言うことを聞かないとか、思うように動かなくなっただけなのに。主体的な人格を持った一人の人間だから当たり前だということを忘れている。自分の子ども観は、どうなのか、あらためて問い直してみなければと思う。

子どもには力がある。だからと言って、あなたの言うこと全て聞きますよ、ではなく、聴いて一緒に考える。大人であろうと完璧じゃないので、大きな声でこうすれば良いとはとても言えません。正しいことは控えめにしてみる。

あなたの話、しっかり聴きますよ、そして一緒に考えましょう。もし、聴いてもらってないなと思ったら、ちゃんと聴いてと言ってください。言っても無駄だと思ったら、他の聴いてくれる大人が必ずどこかにいます。

中川



♥ 第2回研修会 《ヒヤリ・ハットの検証と防災マップの活用方法を学ぶ》

日頃の活動の中でちょっとした行き違い、勘違い、思い違いなどでヒヤリ・ハットすることがあります。

この最初のヒヤリ・ハットとした時に、なぜそうなったのかを手順をふんで検証していくことで、同じことを繰り返さず、事故や失敗を防ぐことができます。

前半（ヒヤリ・ハットの検証）は提供会員の方の研修会で、事例をもとに意見を出し合い、意識を高め合います。

後半（防災マップの活用方法）は依頼会員の方も参加していただけます。自宅周辺や職場、サポート活動経路にはどのような災害の可能性があるのか、災害が起こった時に自分が居る場所から避難所までの経路など、伊勢市から配布されている防災マップ見ながら、防災士の中川さんにお話ししていただきます。お申し込みお待ちしております。



日時：3月10日（日）10：00～11：30
場所：伊勢市防災センター（伊勢市楠部町159-1）
内容：10：00～10：30

ヒヤリ・ハットの検証（対象：提供会員のみ）

10：30～11：30

防災マップの活用方法を学ぶ（対象：全会員）

講師：防災士 中川眞由美さん

*ご家庭にある防災マップをお持ちください



申し込みフォーム

♥提供会員養成講座報告

新規・補講・再受講の方を含め12名の方が参加され、2名の方が提供会員として新規に登録していただきました。活動にも意欲的で、頼もしい仲間が増えました。新規で申し込んでいただいた方は欠席があり登録は叶いませんでしたが、次回で残りを受講していただけることと思います。

今回は8月末から9月上旬にかけ予定しています。5年毎の再受講の方はご予約下さい。

♥子どもの権利条約

第23条

- 1 締約国は、精神的又は身体的な障害を有する児童が、その尊厳を確保し、自立を促進し及び社会への積極的な参加を容易にする条件の下で十分かつ相応な生活を享受すべきであることを認める。
- 2 締約国は、障害を有する児童が特別の養護についての権利を有することを認めるものとし、利用可能な手段の下で、申込みに応じた、かつ、当該児童の状況及び父母又は当該児童を養護している他の者の事情に適した援助を、これを受ける資格を有する児童及びこのような児童の養護について責任を有する者に与えることを奨励し、かつ、確保する。
- 3 障害を有する児童の特別な必要を認めて、2の規定に従って与えられる援助は、父母又は当該児童を養護している他の者の資力を考慮して可能な限り無償で与えられるものとし、かつ、障害を有する児童が可能な限り社会への統合及び個人の発達（文化的及び精神的な発達を含む。）を達成することに資する方法で当該児童が教育、訓練、保健サービス、リハビリテーション・サービス、雇用のための準備及びレクリエーションの機会を実質的に利用し及び享受することができるように行われるものとする。
- 4 締約国は、国際協力の精神により、予防的な保健並びに障害を有する児童の医学的、心理学的及び機能的治療の分野における適当な情報の交換（リハビリテーション、教育及び職業サービスの方法に関する情報の普及及び利用を含む。）であってこれらの分野における自国の能力及び技術を向上させ並びに自国の経験を広げることができるようにすることを目的とするものを促進する。これに関しては、特に、開発途上国の必要を考慮する。



日本の子ども達で障害を持っている子どもおよび養護をしているものが特別な支援を受けられる権利があります。

20歳未満に与えられる支援が2つあり、それぞれ「特別児童扶養手当」と「障害児福祉手当」です。

保護者にとって精神的・経済的な負担は避けられないものですが、所得の制限はあるものの、医師の診断のもと障害者手帳が交付され、各手当が支給されます。

手帳には「身体障害者手帳」「精神障害者保健福祉手帳」「療育手帳」の3種類があります。

また、子どもの権利条約第3条「子どもにもっともよいことを」を守ることを保証するよう要請する内容として、日本で提供されているサービスは「医療型児童発達支援」「児童発達支援」などの児童を訓練するサービス、「特別支援教育」などの教育を提供するサービス、そして医療サービスを支援する手当などが定められています。

障害の内容により、子どもの意見を聞くことが難しい場合もあるでしょうが、出来る限りその子どもの意思を尊重しながらどうすることが子どもの成長にとってベストなのか、社会的に自立できるよう支援できるかを養育者と支援者で考えていく事が望ましいと思います。

日本では様々な支援・サービスが受けられるようになってきていますが、発展途上国では一般の国民さえ基本的な権利が守られていない事がある中、障害者の立場はもっと弱い現実があります。国により格差があることがどうしてももどかしく感じますが、知る事、伝える事、出来る範囲で支える事をしていきたいと思ひます。(「子どもの権利を考えるサイト」より一部引用)

池田



♡いろいろお知らせ

♪いせ市民活動フェスティバル ～みんなで考えようSDGs～あなたは何に取り組んでいますか

みんなネットもブース参加とパーティーマーケットにも参加します。

日時：3月23日(土) 10:00～15:00 **場所**：北館いせシティプラザ

♪子ども支援者養成講座ビデオをWEB配信中

内容：「子どもにはチカラがある～子どものエンパワメントを支える大人の役割～」 「チャイルドラインとは」 「思春期外来の現場から」 「いじめ・不登校」 の4講座



配信期間：3月31日まで **最終申込〆切**：3月20日(水祝)

参加費：1講座1,500円 **申込**：チャイルドヘルプライン MIE ネットワークホームページ



♪子ども服のリサイクル交換コーナー(無料)常設中 (もらっていくだけでもOK!)
♪毎月11日はイオンのイエローレシートの日!! (イオン伊勢店、マックスバリュラパーク店の三重みなみ子どもネットワークのBOXにイエローレシート入れて下さいね<m(_)>m>)
♪チョコレート・カテキン茶・乾燥あげ・こんにやく・野田あられも買っていただくことでチャイルドラインへの寄付金になります! ご入用の方はみんなネット事務所までお問合せ下さい。

随時発行

《発行》 いせファミリー・サポート・センター

〒516-0037 伊勢市岩渕 2-3-13 NPO 法人三重みなみ子どもネットワーク (みんなネット) 内

TEL: 0596-28-5692 FAX: 0596-28-5679

e-mail kodomo21@zb.ztv.ne.jp



メール



ホームページ